

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2021年
11月15日

No.206

かすかの
写真募集中

令和3年

9月定例会

12月

3月

定例会は
年に4回

9月

6月

もくじ

- 2 令和2年度決算認定
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 9月定例会での審議結果
- 10 11人の議員が一般質問
- 14 定例会の視点・論点
- 15 ギカイのトリセツ

「県大会に向けて」

撮影者 宮迫加苗さん

撮影場所 大谷小学校

撮影者の紹介はP16へ

ギカイを



見に行こう!



9月定例会では、決算審査特別委員会を設置し、令和2年度一般会計決算について、5日間にわたり審査を行いました。

令和2年度一般会計 決算状況

黒字

認定

歳入総額 513億2,256万円
(前年度比約160億円増)

歳出総額 491億8,417万円
(前年度比約156億円増)
翌年度に繰り越すべき財源 9億1,439万円

実質収支額 12億2,400万円

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年19人としていた委員数を8人としました。



【決算審査特別委員会】
委員長：野口明美
副委員長：川崎英彦
委員：北田織、中原智昭、高橋裕子、西村澄子、岩淵穰、西川文代

歳入 160億9,042万3千円の増収
・国庫支出金および市債などは大幅増↑
・寄附金および繰越金などは減↓



	区分	金額
増額要因	国庫支出金	140億9,694万2千円
	市債	14億5,110万円
	繰入金	6億932万4千円
減額要因	寄附金	▲1億7,711万9千円
	繰越金	▲1億3,007万1千円

・特別定額給付金給付事業費国庫補助金(113億2,690万円)
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10億7,043万9千円)など

歳出 155億5,573万円の増

	目的別	金額	主な内容
増額要因	総務費	123億3,932万5千円	特別定額給付金事業費(約113億6千万円) 公共施設等整備基金積立金(約6億1千万円) 財政調整基金積立金(約3億2千万円)
	教育費	23億445万円	小学校管理費(約5億5千万円) 温水プール管理費(約4億3千万円) 小学校施設整備事業費(約4億3千万円)
	商工費	4億6,649万1千円	中小企業等支援給付事業費(約4億4千万円)
	減額要因	土木費	▲1億3,641万円

決算審査特別委員会での

Q&A

委員会の審査では、各事業の決算内容について、さまざまな質疑が行われました。ここでは、その一部をお知らせします。



側溝整備事業は

問 市内には古くなった側溝が多くあるため、自治会などの協力を得ながら点検した方がいいと思うが、どうか。

答 全地区の点検とまではいかないが、開発事業や区画整理事業がいつ頃なされたのかが分かる資料を基に現地調査をし、どの地区を改修するかという計画を立て、予算の組み方を検討している。

市民健康診査は

問 市民健診の予約にLINEを活用するなど、予約方法の改善について議論は行っているか。

答 ワクチン接種の予約にLINEを採用し、かなりスムーズにしている部分もあるため、市民健診の予約方法についても、そういったものも含めて考えていかなければならないと内部で議論している最中である。

不登校児童生徒支援事業は

問 不登校の状態にある全ての児童生徒と何らかの形で意思の疎通ができていないか。コンタクトが取れず、状態が分からないといった児童生徒はいないか。

答 不登校状態にある児童生徒には、何らかのアプローチはしているが、保護者の考え方もあり、接触が難しい生徒が少数いる。そういった家庭に対しては、学校だけではなく、子育て支援課とも連携して対応している。

街頭防犯カメラ設置事業は

問 警察署と連携し、場所などを確認しながら設置されていると思うが、これによって犯罪の抑止につながったなどの事例はあるか。

答 警察から、毎月画像の提供依頼が来ており、令和元年度は54件、令和2年度は82件、令和3年度は4月、5月の2か月で既に36件となっている。交通事故や犯罪になりそうなケースの時に、警察から依頼があり協力しているという状況である。

議会費は2億5,918万円

(主な項目と決算額)
・議員報酬(20人).....1億1,261万円
・期末手当(20人).....3,708万円
・政務活動費(議員一人当たり1万2,500円/月額) 300万円
・費用弁償.....133万円
・議会だよりの作成(年4回).....223万円

議会の予算は、このようになっていきます。内訳に記載しているのは、主な項目です。



本会議での討論

吉居 恭子 議員 **反対**

本市の財政運営は健全であり、新型コロナウイルス感染拡大により困窮した市民に対し、食糧支援、経済支援などがもっと行なえた。同和団体への補助金支出や放課後児童クラブの事業・財務報告を見ても、これらが適正であるか不明。

船久保 信昭 議員 **賛成**

市税は約1億600万円の増収である。また、歳出はどのような分野の経費でも事業の精査と経費節減の努力を怠ることなく計画的に市民サービスを行い、4つの財政健全化判断比率も健全性は高い水準であり賛成である。

一般会計決算を
チェック!

決算状況

議案審議

議案審議

一般質問

一般質問

定例会の視察・議員研修会
ギカイのトリセツ

9月定例会 議決結果一覧



議案の項目	掲載ページ	議決結果	賛成	反対	公明党		創政会		翔春会		令桜会		春令会		春陽会		会派に所属しない議員		
					野口 明美	岩切 幹嘉	高橋 裕子	原 克巳	米丸 貴浩	川崎 英彦	飯田 浩昭	白水 祥太郎	中原 智昭	迫 賢二	船久保 信昭	北田 織	藤井 俊雄	西村 澄子	金堂 清之
人事																			
固定資産評価審査委員会委員の選任	7	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算																			
令和3年度 一般会計補正予算(第8号)	6	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	8	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	8	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	-	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 下水道事業会計補正予算(第1号)	9	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定																			
令和2年度 一般会計歳入歳出決算認定	2	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和2年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和2年度 筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 下水道事業会計収入支出決算認定	4	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他																			
春日市ふれあい文化センター(文化施設)の指定管理者の指定	9	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
春日市ふれあい文化センター(市民図書館)の指定管理者の指定	7	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告(専決処分)																			
奴国の丘歴史公園における児童の負傷事故に伴う損害賠償の額の決定	-	承認	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
樹木の根による駐車場の損傷事故に伴う損害賠償の額の決定	-	承認	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書																			
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	13	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告事項																			
令和2年度春日市健全化判断比率について(令和3年9月1日受理)																			
令和2年度春日市資金不足比率について(令和3年9月1日受理)																			
陳情																			
[新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求めます]に関する陳情書について(送付先:市民厚生委員会)																			

※松尾徳晴議員(会派に所属しない議員)は議長職のため、表決権はありません。 ※◎は会派代表者 (○賛成 ●反対)

特別会計・事業会計 決算状況

各特別会計・事業会計の審査が付託された常任委員会において行われ、すべての決算を認定しました。



市民厚生委員会

国民健康保険事業



ポイント



税率の増額改定により前年度に比べ歳入は増となった。実質単年度収支は赤字であるが、前年度に比べマイナス幅が小さくなっており、収支は改善傾向である。引き続き、財政収支の改善に努める必要がある。

歳入 99億6,428万67円(前年度比1.4%増)
歳出 97億3,820万1,796円(前年度比1.2%増)

市民厚生委員会

介護保険事業



ポイント



歳出のうち地域密着型介護サービス費が対前年比約9千万円の増。事業所が新たに2カ所開設したことが要因の一つである。令和2年度の介護給付費準備基金残高は約8億9千万円となった。

歳入 69億6,433万203円(前年度比1.7%増)
歳出 68億1,492万3,838円(前年度比1.4%増)

市民厚生委員会

後期高齢者医療事業



歳入 15億3,097万929円(前年度比3.5%増)
歳出 14億6,197万4,672円(前年度比3.7%増)

問

包括的支援事業の生活支援コーディネーター会議と地域密着型サービス運営推進会議の開催回数が減少している要因は何か。

答

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催回数減となった。その代わりにとして文書開催を行っている。

市民厚生委員会

筑紫地区介護認定審査会事業



この事業は、令和元年度および2年度の2年間、本市が筑紫地区介護認定審査会の当番市であったことから、認定審査会に必要な予算を特別会計として措置したものの。

歳入・歳出 8,689万117円

地域建設委員会

下水道事業



【令和2年度の主な事業】

- 平成28年度に策定した「ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の改築更新を計画的かつ効率的に進めるため、管路改築実施設計、汚水幹線および雨水幹線の改築工事を実施。
- 浸水対策事業として、小倉第1雨水幹線の側壁を改良する工事、春日原駅周辺整備に伴う汚水枝線築造工事の設計業務、須玖南8丁目地内汚水枝線築造工事を、それぞれ実施。

収益的収入 23億3,440万6,802円(前年度比3.0%増)

収益的支出 19億3,651万1,377円(前年度比2.7%増)
御笠川那珂川流域下水道維持管理負担金増など

資本的収入 5億86万7,198円(前年度比8.3%減)
公共下水道債の減額など

資本的支出 14億7,328万622円(前年度比1.8%減)
工事請負額の減額など

問

御笠川那珂川流域下水道の建設改良負担金の変動する仕組みは。

答

福岡県の事業費によって毎年負担額は変わる。令和元年度と比較して1,656万5,744円増加している。

一般会計決算を
チェック!

決算状況
議決結果

議案審議

議案審議

一般質問

一般質問
意見書

定例会の視察・調査・研究
ギカイのトリセツ

春日市固定資産評価審査委員会委員の選任



固定資産評価審査委員会委員

おおつか せいじ
大塚 誠司氏(2期目)
任期は令和3年10月3日から3年間

【固定資産評価審査委員会】

固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に対する納税者からの不服を審査、決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関。固定資産の評価が適正か否かについて審査を行う。本市では3名の委員で構成。

市民図書館の指定管理者の指定

(株)図書館流通センターを市民図書館の指定管理者に再指定



指定期間:令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間

【指定管理者が新たに導入したサービス】

①開館時間の拡大

午前10時~午後6時

午前9時~午後7時
(金・土曜日は午後8時まで開館)

②移動図書館の祝日運行開始

③図書除菌機、デジタルサイネージ(電子看板)の導入

④感染症対策としての非来館サービス「電子図書館」、「郵送貸出」の開始

⑤春日市 図書館を使った調べる学習コンクールの開始

⑥図書館サポーター制度の開始

⑦地域資料のデジタル化「写真でたどるなつかしい春日」の開始



問 民間活力を生かすことが出来たとの評価がなされているが、その内容は。

答 近隣市に先駆けた電子図書館の導入、市民サービス向上のための司書などの職員研修の充実、全国の先進的な事例などを情報共有し活用した新事業の実施など。



令和3年度一般会計補正予算(第8号)

■補正額 14億8,952万2千円増
■歳入歳出総額 372億5,566万3千円



春日市新型コロナウイルス感染症緊急支援策(第7弾)

歳入

問 春日市新型コロナウイルス感染症緊急支援策第7弾については、全て地方創生臨時交付金でまかなえているのか。

答 ほとんどの事業が交付金の対象となっている。

歳出

売上が減少した中小企業等支援事業(1億310万8千円)

内容 対象となる1事業者あたり1回に限り一律5万円を支給

飲食店等に対する感染防止対策支援事業(750万円)

内容 対象となる1店舗あたり1回に限り一律3万円を支給

問 事業継続支援給付金、感染防止認証店助成金の対象となる事業者は。

答 事業継続支援給付金は、国または県の月次支援金を受け売上額が30%以上減少している者、感染防止認証店助成金については、県が定める感染防止対策の認証基準を満たし支援金の給付を受けた者が対象となる。

小学校給食室空調整備事業(4,455万円)

内容 給食調理場の温度を一定に保ち、衛生環境を改善し感染予防を図るとともに、臨時的な開校時にも給食提供を可能にするため、未設置校9校に空調機器を整備

問 各小学校給食室の空調設備整備について、今後予定される大規模改修に影響はないか。

答 既に大規模改修済みである小学校3校を除く残り9校について、今後の改修時にも活用できるように設置する。



歴史資料館等のリモート見学環境整備事業(34万3千円)

内容 児童生徒が学校にいながら、オンラインまたはリモートにより歴史資料館や発掘現場の見学ができる環境を整備

地域学校協働活動のリモート環境整備事業(368万9千円)

内容 学校と地域・家庭を結ぶ地域コーディネーターの連絡調整や会議がリモートでも円滑に行えるよう全小中学校にコーディネーター専用のパソコンを設置



全ての議案はこちら⇒

一般会計決算を
チェック!

決算状況
議決結果

議案審議

議案審議

一般質問

一般質問
意見書

定例会の視察・調査
ギカイトリセツ

春日市ふれあい文化センター(文化施設)の指定管理者の指定

トールツリーグループをふれあい文化センター(文化施設)の指定管理者に再指定



指定期間:令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間

問 新型コロナウイルスの影響で休館などがあった場合の補償についてはどうか。

答 指定管理者と協議の上、補填などを図っていく。

問 利用促進につなぐ施設改善費の新たな支出の根拠は何か。

答 指定管理者の独自予算として提示されたものである。5年間で「諸室のネット環境整備」、「施設管内・管外のサイン表示の設置」、「和室トイレの手すりの設置」、「料理講習室の調理器具・食器などの新調」が提案されている。



令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)

- 収益的収入** 1,000万3千円増額 → 総額23億6,932万1千円 (他会計補助金の増(分流式下水道経費)など)
- 収益的支出** 231万1千円増額 → 総額18億5,076万5千円 (道路改良工事に伴うマンホール蓋など修繕費の増など)
- 資本的収入** 2,545万2千円減額 → 総額10億8,086万円 (国庫補助金の内示減額など)
- 資本的支出** 2,604万5千円減額 → 総額20億7,967万8千円 (ストックマネジメント計画に基づく汚水管理改築工事の減など)



資本的収入が資本的支出に対し不足する額9億9,881万8千円は、以下で補填された。

- ・消費税及び地方消費税資本的収支調整額……………6,564万4千円
- ・減債積立金……………3億8,260万7千円
- ・損益勘定留保資金令和2年度分……………4億6,053万2千円
- ・損益勘定留保資金令和3年度分……………9,003万5千円

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

- 補正額 3,559万2千円増
- 歳入歳出総額 15億4,058万1千円



問 被保険者数は毎年増えているのに保険料が減額補正となっている要因は何か。

答 福岡県全体の所得が令和2年度と比べて2.08%減少していることが要因の一つと考えられる。



国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

- 補正額 2億1,305万円増
- 歳入歳出総額 98億5,851万円



問 昨年度の特別交付金(保険者努力支援分)の補正増額1,350万円に対し、今年度は250万円になっている。昨年と比べ、補正額が減少したのは、取組評価分の交付金算定における指標が変更されたことが要因か。

答 指標が変更されたことが要因ではない。特別交付金には、取組評価分と事業費分などがある。今回の補正は、事業費分であり、その交付上限額が1,350万円から1,600万円に引き上げられた。取組評価分とは別に事業を行った結果として交付上限額まで交付されるものである。交付上限額の差額の250万円を補正増したものである。

「特別交付金(保険者努力支援制度)」


保険者である市町村が、予防・健康づくりなど医療費適正化への取り組みや国固有の構造問題への対応などについて、保険者機能の発揮を促す観点から、客観的な指標に基づき、都道府県や市町村ごとに保険者としての取り組み状況や実績を点数化し、それに応じて国が交付金を交付することで、国保の財政基盤を強化する制度。

令和2年度より、保険者努力支援制度の中に、「事業費」として交付する部分(予防・健康づくり事業に要する費用に応じて交付する部分)を設け、市町村における予防・健康づくりを国が抜本的に後押しする。




基本目標3

今後の新型コロナウイルス感染予防は



なかはら ともあき
中原 智昭 議員



問 国が推奨するワクチン2回接種は、本年10月から11月までに希望する市民に接種可能か。

答 11月末までに12歳以上の人口8割への2回接種は充分可能だが、前倒して接種を進める。

問 今後のかかりつけ医などでの個別接種の予定は。

答 ワクチンの保存などの問題があり、本市では難しいので今後も集団接種を進める。


問 3回目のワクチン(ブースター接種)の情報は。

答 国、県からの情報は届いてないが実施の可能性が高いことから準備を進め対応していく。




基本目標2

教育現場における意識改革について



さこ けんじ
迫 賢二 議員




問 学校の判断に対し自分の意見を強く言う保護者も少なくなく、教職員が本来の問題点以外の対応に追われている。子どもたちにしっかり向き合う教職員は人気があり、熱意が伝わる。自信を持ち強い気持ちで対応できる、教職員のプロ意識の改革こそが求められると思うが。

答 子どものセーフティーネットづくりを教育行政の基本理念に掲げ、それを継続して指導すると共に、日常的に学校に出向き、個々の先生方と語り具現化に向け努めていく。




基本目標3

新型コロナウイルス感染拡大の対策を万全に



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 家族が感染し、一人では生活が困難な障がい者や高齢者、子どもへの対応・支援はどのようにしているか。

答 現在市には感染者の詳しい情報提供はない。県が個々の家族の事情などを聴き取り、入院などの調整をしているため、関係機関との連携体制を整えていると聞いている。


問 県だけでなく市も、自宅療養者にパルスオキシメーター(血中酸素飽和測定器)を貸し出す体制が必要と思うが。

答 現時点では貸出す体制はないが、可能な限り対応していきたい。




基本目標3

スマホアプリを活用し介護予防を実施しては



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問 コロナ禍で高齢者が健康維持を目指し、散歩や体操などを一人で継続するのはなかなか難しい。みんなと続ける習慣化スマホアプリ「みんチャレ」で高齢者のつながりと運動を継続する仕組みを提供する、フレイル予防事業が先行実施されている。非対面による新たな介護予防を支援し、実施する考えは。

答 非対面の取り組みは活用実績や普及状況の効果を注視し、当面は感染対策を行い、対面での介護予防事業を継続し状況に応じ市ウェブサイトの動画活用を進める。



9月定例会 一般質問

11人の議員が市政に対する質問を行いました

いつでもどこでも


QRコード  をスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。




※春日市の一般質問は、
・[回数制]は3回まで質問ができます。令和3年3月定例会から、答弁も含め60分以内に終わらせるよう努めています。
・[時間制]は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。
※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

基本目標1
基本目標2

待機児童0達成と春日原駅春日駅を一体的に



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 子育て世代が住みたいと思うまちづくりを実現し、活力と魅力の維持向上を推進する本市。小規模保育事業などの新設など、積極的に検討し、待機児童0に覚悟を持ち取り組んでいただきたい。

答 目標達成に向け尽力すべきものと捉える。弾力的な対応や見直しを常に研究、検討を図るのは行政として当然の使命であると思う。

問 ウォーカブル推進は春日原駅と春日駅を含み一体的に行われるものと考えてよいのか。

答 両駅間においても検討を進めていく。

第6次総合計画基本目標	質問項目	発言順	議員名	掲載ページ
基本目標1	住みたい・住み続けたいと思うまちづくりについて	8	西川 文代	時間制 10
基本目標2	教育現場における意識改革について	2	迫 賢二	回数制 11
	保育所待機児童0を目指す今後の取り組みについて	8	西川 文代	時間制 10
基本目標3	今後の新型コロナウイルス感染症へのワクチン接種と感染予防対策について	4	中原 智昭	時間制 11
	女性活躍推進について	5	高橋 裕子	回数制 -
	介護予防の取り組みについて	5	高橋 裕子	回数制 11
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策について	6	岩切 幹嘉	回数制 11
	総合スポーツセンターの利用制限解除の見直しと施設休館時の手続きについて	7	西村 澄子	時間制 12
基本目標4	改正災害対策基本法と地域防災について	1	米丸 貴浩	時間制 12
	第2次都市計画マスタープランの具体化について	3	岩淵 穰	回数制 12
基本目標5	公共施設の今後のあり方について	9	原 克巳	回数制 12
	市のバスに代わる市民活動への支援について	10	吉居 恭子	時間制 13
	指定管理者の事業報告と事業評価について	10	吉居 恭子	時間制 -
	本市庁舎敷地東側構造物のあり方に係る本市の認識と具体的な将来設計について	11	白水 祥太郎	時間制 13

基本目標 5

市庁舎敷地東側のあり方について



しろうず しょうたろう
白水 祥太郎 議員



問 人工河川跡は、落ち葉、泥や砂、ごみも堆積しやすい。今後も雨水側溝として、安全かつ適切に管理できるのか。

答 庁舎全体を含めた安全対策にも配慮し、必要があれば速やかに改善を進める。

問 大会議棟側から車椅子を利用して市庁舎内に入るための分かりやすい出入口がない。専用通路を計画するなど、改善すべき点があるのでは。

答 大会議棟内エレベータを利用していただくのが最短コースであり、最善の方法。案内標識は改善の検討を進める。



市庁舎敷地東側の人工河川跡

基本目標 5

市バス廃止後の団体研修などへの代替支援は



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問 自治会およびシニアクラブ以外で、これまで市バスを利用してきた、市内で活動している団体に関しては、担当所管の各課に申し出、使用目的や内容が認められれば、バスの借り上げ費用・バス代実費を出していただき、これまで通りバスを利用することができるのか。

答 申請される事業内容を十分に精査し、可否の決定を行う。公益性の高い研修などについては、バスの借り上げ費用を予算措置する。



市が所有していたバス

基本目標 4

法改正を受けて、福祉避難所の確保を推進



よねまる たかひろ
米丸 貴浩 議員



問 指定福祉避難所を指定一般避難所と分けて指定、また、受入対象者を特定し公示する制度は、本市でも必要と考えるが。

答 市としても受入対象者の公示について、施行規則改正の趣旨を踏まえ、検討してまいりたい。

問 避難所標識と防災ガイドブックの適・不適表示マークの表記が異なり、正確な情報伝達がなされているのかと考えるが、整合性についての見解は。

答 防災ガイドブックの改訂や避難所看板などの更新時に、統一的な表記を検討していきたい。



指定避難所に設置された避難所看板

基本目標 3

スポーツセンターの利用制限解除の見通しは



にしむら すみこ
西村 澄子 議員



問 スポーツセンターでのワクチン集団接種の終了時期は。

答 11月末までには接種完了と見込んでいたが、3回目の接種の検討を国が進めており、現時点では終了時期を見通すことは困難。

問 接種会場の場所の確保の基準は。

答 1日の予約枠を増やし、待機場所として会議室などが必要と考えている。

問 接種会場の継続にあたり、利用者に寄り添った説明と連携が必要。意見を聞く事を講ずるか。

答 継続的に使用する事に特化して何う事は考えていない。



集団接種会場の総合スポーツセンター

全 14 項目の一覧は 10 ページへ

地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出します。

第3号意見書案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書



【提出者】 高橋 裕子 議員

【要旨】 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を図るため、以下の事項を確実に実現するよう、国に対し強く要望する。

- ①令和4年度以降3年間の地方一般財源総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとともに、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せが行かないよう、十分な総額を確保すること。
- ②固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であるため、制度の根幹を揺るがすような見直しは行わず、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- ③令和3年度税制改正において、土地に係る固定資産税について講じた課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- ④令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- ⑤炭素に係る税を創設または拡充する場合には、その一部を地方税または地方譲与税として地方に税源配分すること。

基本目標 5

公共施設の今後のあり方について



はら かつみ
原 克巳 議員

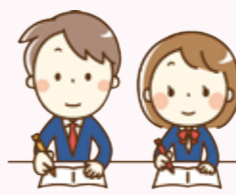


問 公共施設の維持管理、更新に関する今後の計画は。

答 施設の長寿命化、再配置、運営・維持管理の効率化を基本方針としてマネジメントする。再配置に当たっては、関係者の意向を把握し、共通認識を深めながら丁寧に検討を進める。

問 学校図書館をこれまでの役割に加え、生徒の自学自習の場にする取り組みを進めるべきでは。

答 意見に賛同する。今後、生徒の声も取り入れながら、学校図書館の活用をどのように進めていくか検討したい。



基本目標 4

都市計画マスタープランの具体化について



いわぶち ゆたか
岩淵 稜 議員



問 新たに策定された都市計画マスタープランは、目指すべき将来都市像が明確に示され、良く吟味されたものとなった。本計画の実現にあたって市長の具体化に取り組むお考えを問う。

答 都市計画の方向性を長期的に意識し、社会経済情勢を踏まえ議会や市民の意見を伺い、事業を選択し進めていきたい。既存不適格建築物の解消など、長年の未解決な課題について、次世代に先送りすることなく責任を持って解決の道筋をつけ、強い覚悟で臨みたい。



第2次春日市都市計画マスタープラン

ギカイのトリセツ

パート5

市民の代表機関である議会を身近に感じていただけるように『ギカイのトリセツ』をシリーズ化し5回目となります。春日市議会では本年10月より、政策提言につなげるため、閉会中の調査事件を積極的に活用することになりました。そこで、今回のテーマは『所管事務調査』です!!



『所管事務調査』とは

常任委員会が、その所管する事務について自主的に行う調査です。委員会の発議により、市政の各分野における課題の解決に向けて、市長などの執行機関に対し具体的な政策や施策を積極的に提案するもので、その成果を



- ①付託議案の審査に活かす。
- ②所属委員が特定の調査事項に関し、委員会としての意見を議案などとして提出する(条例提案)。
- ③執行機関を監視し、チェックするなどの役割を果たす。などが期待されます。

閉会中の所管事務調査については、9月定例会本会議最終日に、各常任委員会の調査事件について以下のとおり付託することを決定しました。

- 【総務文教委員会】 教育環境のさらなる充実について
- 【市民厚生委員会】 障がい者福祉の現状と支援について
- 【地域建設委員会】 人と地域がつながり、良好な住環境の中で安心して暮らせるまちづくりについて

○常任委員会ごとの閉会中の所管事務調査のテーマ設定についての詳細は

10月30日(土)に開催しました、オンライン(Zoom)議会報告会にて、各常任委員会委員長から報告がありました。報告内容につきましては、録画動画を春日市議会のウェブサイトでご視聴いただけます。

○オンライン議会報告会の詳細につきましては、かすが議会だより207号にてお知らせします。

市政の課題解決を含め、より良い市政運営に向けて、
政策提言、条例提案、などを目指します!!



総務文教委員会



市民厚生委員会



地域建設委員会

令和3年第3回春日市議会

9月定例会の

視点・論点

緊急事態宣言下における議会の感染症対策について

今定例会は、緊急事態宣言下での開催となった。春日市でも新規陽性者数が著しく増加していたことから、春日市議会においては今まで以上の感染症対策を講ずることとした。

具体的には、密を避けるため一般質問では議場に入る議員数を制限し、決算審査特別委員会は委員数を19名から8名とした。併せて、各議員が保有するタブレットを活用し、議会棟に待機する議員に対して会議のオンライン視聴を可能としたことにより、議員間による審査内容の共有化を図った。

本定例会からすべての会議資料を電子ファイル化したことで、議員間や執行部とのやり取りが簡素化された。また、議場や会議室の外から会議を視聴または参加できる仕組みが実証され、結果としてリモート会議の環境整備が大きく進むこととなった。

今後のコロナ禍や災害などの予測のつかない緊急時において議会が十分に機能を果たせるよう、今回の取り組みを、現在策定中である議会業務継続計画(議会BCP)に活かしていきたい。

7月6日北川正恭先生による「オンライン議員研修会」を開催

きたがわまさやす



北川 正恭 先生

昨年2月の議員研修会を受けて議長から、議会活動について総括的報告が、続いて議会運営委員長が、これまでの進展と課題について、最後に広報広聴委員長から広報広聴関連についての報告をいたしました。

各報告に対して北川先生から、次のようなご意見をいただきました。

- ・オンラインが災害対策に効果があるということ、タブレット端末の配付は大変結構なことである。災害状況の報告の仕方など、災害対策本部が設置された時の議会の対応を、議員間で討議していただきたいと思う。
- ・この1年間で大変な努力をいただき感謝した。
- ・このご努力に大変敬意を表します。また議員間討議を尊重されている、この考え方をさらにいっそう進めていただきたいと思う。
- ・改革が進んだ議会は、何が足りなかったのか、何が原因だったのか、というようなことからモティベーションにつながる。
- ・ひとつの指標であり評価の対象になるので、ぜひ議長と相談いただきたい、マネーフレスト大賞に登録をいただければと思う。

広報のやり方もいろいろあるというところに着目いただき、進歩していただくことはとても大事なことだと思ふ。

ファシリテイトの話もあり、ぜひ議会の報告のあり方、広報広聴のあり方も、これからさらに進化をさせていただければと思ふ。

意見を聞いてこれだけやったという、こういう好循環に変わっていくことこそが議会改革。執行部に対して議会から対等な関係で議論して、そして市政を緊張感のあるものにしてもらいたい。

議会内の形式要件の整備から、実質的な改革に方向が少しずつ来ていることを感じてうれしく思ふ。

ぜひこれからも開かれた議会として、市民の声を聴く、広聴機能の充実、そしてその実現に向けていくということが大切だと考える。



みやざこ かなえ
宮迫 加苗さん(撮影者)
みさと れんと はやと
美伶さん(左)・蓮都さん(中央)・隼士さん(右)
(大谷在住)

応募のきっかけや写真タイトルに込めた思い

福岡県で一番のピッチャーになることを目標に練習してきました。骨折などでなかなか県大会まで勝ち上がることが出来ず、西日本大会でようやく県大会まで勝ち進むことが出来ました。県大会ではチームとして初の勝利。ベスト16まで進めました。応募のきっかけは、毎年行われているわんぱくソフト(体験会)が、コロナの影響で2年連続中止となり、ソフトボールを知ってもらう機会が減っていたので。少しでもソフトボールに興味を持ってもらえるきっかけになればと思い応募しました。

現在の蓮都さんへ伝えたい言葉

怪我が多く、成長して立ち止まっただけの繰り返しだけど、少しずつ成長はしている。「やればできる」をモットーに、残りわずかなチームでの試合で勝てるように努力を続けて欲しいです。そして中学生になっても自分の夢に向けて頑張っていて欲しいと思います。

春日市議会のここに期待しています

ナイター設備を付けて欲しいです。予算的に厳しければ投光器でも良いので、冬場でも練習しやすい環境を作って欲しいです。

会期日程 令和3年 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
			本会議 (提案説明)		本会議 議会運営委	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報広聴委	常任委員会 (審査)		本会議 (一般質問)	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 (一般質問)	常任委員会 (採決) 広報広聴委	議会運営委 常任委員会	常任委員会	本会議 (採決)	

※日程は都合により変更になることがあります。

あなたの
写真が
表紙に!

次号207号
令和4年2月15日発行
12月13日
メ切

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。

表紙応募方法の詳細は
こちら



編集後記

大抵の記憶は月日と共に薄れていく。しかし、高校生の時に心に響いた先生の言葉が、不思議と今もありありと息づいている。

「時代は常に化する。今存在する仕事で、なくなっていくものも多いだろう。でも人が人であることはいつの時代も変わらない。人を幸せにする仕事はあり続ける。」

確かに時代は大きく変化し、AIがこれからも仕事の在り方を変えるだろう。昨今コロナパンデミックで働き方も急激に変化し先が見えない時代とも言われる。

そんな中、AIを中心とした技術開発だけでなく、人の意識向上の両面に取組み豊かに生きること、well-being(持続可能な幸せ)のメカニズムもさらに研究、議論されるようになった。

今先生の言葉を思い出し、人が感謝と共に前向きに、自分らしくいきいきと幸せに生きること、分断を乗り越える意識、well-beingが広がる仕事があったと改めて思う。

先生の生徒への心こもった熱い言葉は、AIでは表現できない、伝わらない。人から人へ、未来へ繋いでいく価値、想いであり、愛であったと気づく。
(文代)

広報広聴委員会

- 委員長 米丸 貴浩
- 副委員長 吉居 恭子
- 委員 原 克巳
- 委員 西村 澄子
- 委員 西川 文代
- 委員 白水祥太郎